

令和 2 年

岩国市観光客動態調査 報 告 書

岩国市観光振興課

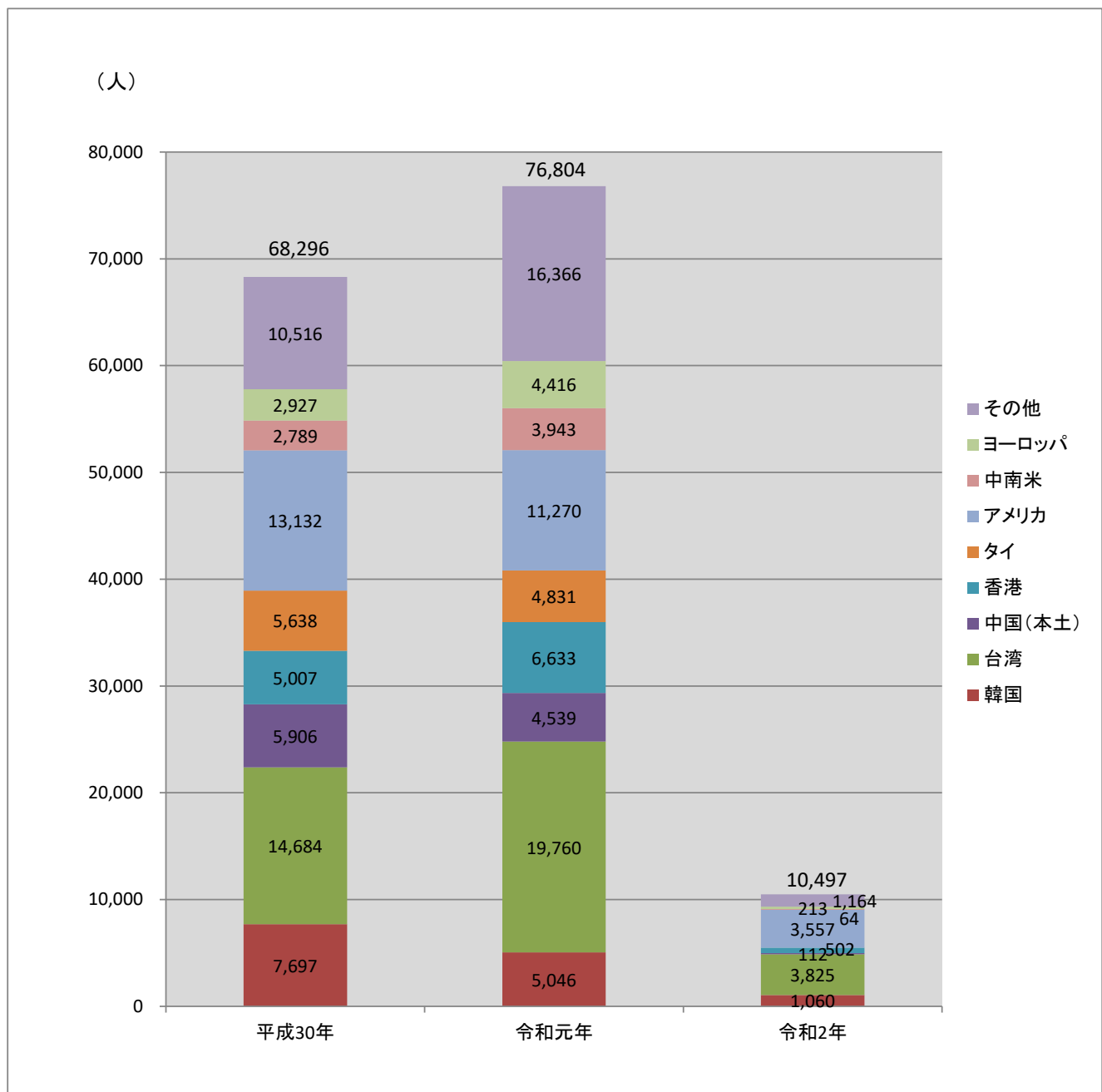
岩国市の観光入込客数と錦帯橋入橋者数の推移（過去10年間）



	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
観光入込客数	2, 977, 028	3, 342, 953	3, 112, 598	2, 970, 357	3, 114, 875	3, 154, 996	3, 329, 275	3, 152, 633	3, 223, 578	1, 366, 079
錦帯橋入橋者数	667, 629	697, 927	700, 866	623, 969	611, 827	614, 583	677, 234	583, 992	620, 301	294, 765

- ※平成23年3月11日東日本大震災発生。6月19日高速道路ETC割引廃止。
- ※平成24年12月13日岩国錦帯橋空港開港
- ※平成25年8月1日貸切バスの交替運転者の配置基準改正
- ※平成25年は日米親善デー開催中止・平成26年は日米親善デー開催（航空ショーなし）
- ※平成29年は山口県デスティネーションキャンペーン実施
- ※平成30年7月西日本豪雨災害
- ※令和2年3月～ 新型コロナウイルス感染症

岩国市の外国人観光客の推移（過去3年間）



※過去3年間の国別観光客数内訳

(人)

	合計	韓国	台湾	中国(本土)	香港	タイ	アメリカ	中南米	ヨーロッパ	その他
平成30年	68,296	7,697	14,684	5,906	5,007	5,638	13,132	2,789	2,927	10,516
令和元年	76,804	5,046	19,760	4,539	6,633	4,831	11,270	3,943	4,416	16,366
令和2年	10,497	1,060	3,825	112	502	0	3,557	64	213	1,164

過去３年間の錦帯橋入橋者数（月別）

（単位：人）

年・月	平成30年	令和元年		令和２年	
			対前年比		対前年比
１月	35,167	37,039	105.3%	29,933	80.8%
２月	27,675	28,335	102.4%	23,498	82.9%
３月	70,530	61,218	86.8%	36,406	59.5%
４月	75,888	85,688	112.9%	13,314	15.5%
５月	65,095	88,965	136.7%	3,854	4.3%
６月	37,110	38,807	104.6%	9,834	25.3%
７月	27,759	35,464	127.8%	14,995	42.3%
８月	53,206	58,031	109.1%	26,091	45.0%
９月	38,274	37,861	98.9%	29,591	78.2%
１０月	47,269	49,658	105.1%	31,185	62.8%
１１月	65,270	61,919	94.9%	50,945	82.3%
１２月	40,749	37,316	91.6%	25,119	67.3%
合　計	583,992	620,301	106.2%	294,765	47.5%

令和 2 年 岩国市観光アンケート調査

1 目 的

今後の観光行政をより効果的に推進していくための基礎的な資料として、岩国市を訪れる観光客の動向を把握するため、観光アンケート調査を実施した。

2 調査概要

◎調査対象

岩国市来訪者への聞き取り調査

◎調査場所および調査日

＊ 錦帯橋周辺

＊ 令和 2 年 9 月～令和 2 年 12 月

◎サンプル数(有効回答)

＊ 4 0 0 人

※令和元年：岩国観光ガイドボランティア協会において、調査実施
平成 31 年 2 月～令和元年 12 月 2, 2 0 6 人

◎調査方法

受託者：トゥルージオ株式会社

団体旅行者及び個人旅行者（日本人）を対象に、バランスよく収集

設問1：来岩観光客の地域別割合

順位	令和元年		令和2年	
1	中国・四国	33.54%	中国・四国	59.00%
2	関東	20.40%	近畿	15.25%
3	九州	15.78%	九州	11.75%
4	近畿	15.00%	関東	8.75%
5	中部	10.06%	中部	4.75%
6	北海道・東北	4.17%	北海道・東北	0.25%
7	外国	1.04%	外国	0.00%
			無回答	0.25%
	計	100.00%	計	100.00%

来県別ベスト10は ①広島 ②山口 ③福岡 ④兵庫 ⑤大阪 ⑥東京 ⑦岡山 ⑧神奈川 ⑨愛知 ⑩島根

R01 ①広島 ②山口 ③東京 ④福岡 ⑤大阪 ⑥神奈川 ⑦兵庫 ⑧愛知 ⑨岡山 ⑩島根

地域別割合では中国・四国の割合が約26%増加し約60%になる一方、関東（約12%減少）をはじめとした各地域からの割合が減少した。

地域区分

北海道・東北	北海道・青森・岩手・秋田・宮城・山形・福島
関東	茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川
中部	新潟・富山・石川・福井・長野・岐阜・静岡・愛知・山梨・三重
近畿	滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山
中国・四国	鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知
九州	福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄
外国	アメリカ・台湾・中国・フランス・タイ・香港・ハンガリー・イギリス・オーストラリアなど29カ国

設問2：あなたの年齢

順位	令和元年		令和2年	
1	60代	25.57%	40代	24.75%
2	50代	20.31%	20代	23.50%
3	40代	18.99%	50代	16.25%
4	30代	13.78%	30代	15.00%
5	70代以上	10.74%	60代	9.75%
6	20代	9.16%	10代	6.50%
7	10代	1.45%	70代以上	4.25%
	計	100.00%	計	100.00%

来岩観光客の年齢は、60代、50代に代わり、40代、20代の割合が高くなった。

設問3：岩国への訪問回数

順位	令和元年		令和2年	
1	1回目	62.06%	1回目	38.25%
2	2回目	18.22%	4回目以上	36.00%
3	4回目以上	11.29%	2回目	18.50%
4	3回目	8.43%	3回目	7.00%
			無回答	0.25%
	計	100.00%	計	100.00%

岩国に初めて訪れる方の割合が約24%減少し、4回目以上の割合が約24%増加した。

【参考】団体バスツアーの地域別台数

（岩国市観光協会：観光バス入り込み状況より）

順位	令和元年			令和2年		
1	中国・四国	1,215台	24.50%	中国・四国	305台	24.86%
2	関東	1,072台	21.61%	関東	280台	22.82%
3	九州	785台	15.83%	九州	241台	19.64%
4	近畿	632台	12.74%	近畿	165台	13.45%
5	外国	492台	9.92%	中部	151台	12.31%
6	中部	486台	9.80%	北海道・東北	43台	3.50%
7	北海道・東北	278台	5.60%	外国	42台	3.42%
	計	4,960台	100.00%	計	1,227台	100.00%

団体バスツアーの台数は、約75.3%減少した。

《参考》あなたの性別

順位	令和元年		令和2年	
1	男	56.30%	男	55.50%
2	女	43.70%	女	44.50%
	計	100.00%	計	100.00%

【参考】個人旅行世代別割合

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
個人旅行比率	96.2%	95.7%	100.0%	96.0%	98.5%	89.7%	82.4%	95.8%

設問4：旅行企画の利用

順位	令和元年		令和2年	
1	フリープラン	82.09%	フリープラン	87.50%
2	旅行会社の団体旅行	11.61%	旅行会社の個人旅行	8.25%
3	旅行会社の個人旅行	6.30%	旅行会社の団体旅行	2.00%
			無回答	2.25%
	計	100.00%	計	100.00%

フリープラン（約5%増）及び旅行会社の個人旅行（約2%増）の割合が増加した。一方で旅行会社の団体旅行の割合が約10%減少した。

設問5：旅行の形態（同行者）

順位	令和元年		令和2年	
1	夫婦・カップル	32.28%	夫婦・カップル	38.75%
2	家族	29.74%	家族	35.25%
3	友人	12.42%	友人	19.00%
4	ひとり旅	10.74%	ひとり旅	3.25%
5	会社仲間	5.35%	友人(女子旅)	1.75%
6	友人(女子旅)	5.30%	修学旅行	1.25%
7	修学旅行	0.09%	その他	0.50%
8	その他	4.03%		
	無回答	0.05%	無回答	0.25%
	計	100.00%	計	100.00%

夫婦・カップル、家族、友人の割合が合計約19%増加し、ひとり旅、女子旅の割合が約11%減少した。

設問7-1：岩国の前に訪れた観光地

順位	令和元年		令和2年	
1	広島市内	16.59%	広島	18.25%
2	宮島	16.32%	山口県中西部	6.50%
3	山口県中西部	8.61%	山口県東部	2.50%
4	九州	1.81%	宮島	2.25%
5	山口県東部	1.45%	島根 鳥取	2.25%
6	広島東部	1.32%	九州	1.75%
7	島根 鳥取	1.13%	関東	0.25%
8	関東	0.59%	関西	0.25%
9	岡山	0.59%	四国	0.25%
10	関西	0.54%		
11	四国	0.41%		
12	東海	0.14%		
13	自宅・その他	50.32%		
	無回答	0.18%	無回答	65.75%
	計	100.00%	計	100.00%

設問8：利用した主な交通機関

順位	令和元年		令和2年	
1	乗用車（2輪含む）	54.76%	乗用車（2輪含む）	75.00%
2	バス	13.83%	鉄道（新幹線）	12.25%
3	鉄道（新幹線）	12.51%	鉄道（山陽本線）	4.00%
4	鉄道（山陽本線）	10.70%	航空機（岩国簡帯橋空港）	1.75%
5	航空機（岩国簡帯橋空港）	6.12%	バス	0.75%
6	その他	1.99%	その他	6.25%
	無回答	0.09%		
	計	100.00%	計	100.00%

設問10：泊まらない人の滞在時間

順位	令和元年		令和2年	
1	2～4時間	52.32%	2～4時間	39.00%
2	1～2時間	36.85%	1～2時間	31.75%
3	1時間未満	5.59%	4時間以上	12.25%
4	4時間以上	5.24%	1時間未満	4.25%
			無回答	12.75%
	計	100.00%	計	100.00%

設問6：旅行先を決めるのに最も参考にしたもの

順位	令和元年		令和2年	
1	旅行雑誌・ガイドブック	27.06%	既知っていた	69.75%
2	地元で知っていた	15.55%	旅行雑誌・ガイドブック	7.25%
3	旅行会社	12.78%	友人の話	7.25%
4	ホームページ	8.84%	S N S	4.50%
5	テレビ・ラジオ	8.30%	ホームページ	3.25%
6	友人の話	8.07%	テレビ・ラジオ	2.75%
7	S N S	4.85%	旅行会社	0.50%
8	パンフ・ポスター	2.13%	その他	4.75%
9	その他	12.42%		
	計	100.00%	計	100.00%

設問7-2：岩国の後に訪れる予定の観光地

順位	令和元年		令和2年	
1	広島市内	16.95%	広島	17.25%
2	宮島	16.91%	山口県中西部	5.50%
3	山口県中西部	14.96%	宮島	3.50%
4	山口県東部	2.77%	山口県東部	1.75%
5	九州	1.95%	九州	1.25%
6	広島東部	1.27%	島根 鳥取	1.00%
7	島根 鳥取	1.13%	関西	0.25%
8	四国	0.91%	東海	0.25%
9	岡山	0.86%		
10	関西	0.45%		
11	関東	0.14%		
12	東海	0.05%		
13	自宅・その他	41.47%		
	無回答	0.18%	無回答	69.25%
	計	100.00%	計	100.00%

設問9：岩国での宿泊

順位	令和元年		令和2年	
1	泊まらない	89.94%	泊まらない	87.25%
2	泊まる	10.06%	泊まる	12.75%
	計	100.00%	計	100.00%

泊まる割合が約3%増加した。

【参考】宿泊状況世代別割合								
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	全世代
泊まらない	92.3%	86.2%	83.3%	86.9%	89.2%	87.2%	94.1%	87.3%
泊まる	7.7%	13.8%	16.7%	13.1%	10.8%	12.8%	5.9%	12.8%

1～4時間合計の割合が約18%減少し、4時間以上滞在される方の割合が約7%増加した。

【参考】滞在状況世代別割合									
時間	年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	平均
時間未満		0.0%	5.3%	5.0%	3.0%	4.6%	2.6%	11.8%	4.6%
～2時間		11.5%	31.9%	31.7%	28.3%	36.9%	35.9%	52.9%	32.7%
2～4時間		42.3%	35.1%	36.7%	42.4%	40.0%	46.2%	23.5%	38.0%
4時間以上		38.5%	13.8%	10.0%	13.1%	7.7%	2.6%	5.9%	13.1%
無回答		7.7%	13.8%	16.7%	13.1%	10.8%	12.8%	5.9%	11.5%

設問11：岩国での使用金額(宿泊費除く。)

	令和元年		令和2年	
1	2,000円	30.78%	3,000円	25.50%
2	1,000円以下	26.93%	1,000円以下	23.25%
3	3,000円	25.39%	2,000円	18.75%
4	5,000円	8.43%	5,000円	17.25%
5	4,000円	4.22%	4,000円	6.00%
6	10,000円	2.13%	10,000円以上	6.00%
7	7,000円	1.27%	6,000円	2.50%
8	10,000円以上	0.82%	7,000円	0.75%
	無回答	0.05%		
	計	100.00%	計	100.00%

4,000円から10,000円の割合が約15%増加し、2,000円以下の割合が約15%減少した。

設問12：岩国でのお金の使用先

順位	令和元年		令和2年	
1	錦帯橋	85.13%	錦帯橋	82.50%
2	ロープウエー	50.27%	軽食	69.75%
3	岩国城	49.41%	昼食	60.75%
4	昼食	44.88%	ロープウエー	37.50%
5	岩国シロヘビの館	44.65%	岩国城	36.75%
6	軽食	34.72%	土産（飲食）	27.75%
7	土産（飲食）	24.03%	岩国シロヘビの館	15.50%
8	土産（雑貨）	11.33%	夕食	10.50%
9	夕食	3.72%	土産（雑貨）	7.00%
10	上記以外の有料施設	3.22%	上記以外の有料施設	1.00%
11	体験料	0.32%	体験料	0.00%
12	その他	1.59%	その他	0.50%
	合計	353.27%	合計	349.50%

※複数回答のため100%になりません。

軽食（約35%増）昼食（約16%増）夕食（約7%増）と昨年に比べて岩国に来てから食事をとられる方の割合が増加した。また、土産（飲食）（約4%増）の割合も増加した。

設問14：魅力向上のために必要な施策

順位	令和元年		令和2年	
1	休憩所が少ない	27.50%	公共交通の利用方法・乗り方・料金情報の入手	9.18%
2	観光情報（見どころ、体験、飲食店等）の入手	19.62%	観光情報（見どころ、体験、飲食店等）の入手	8.16%
3	観光案内所の数が少ない	10.38%	洋式トイレが少ない、場所がわかりにくい	7.14%
4	公共交通の利用方法・乗り方・料金情報の入手	8.08%	無料Wi-Fi環境が少ない	3.06%
5	地図・パンフレットが少ない	5.38%	クレジットカード利用店舗が少ない	3.06%
6	クレジットカード利用店舗が少ない	5.19%	観光案内所の数が少ない	3.06%
7	観光誘導看板がわかりにくい	4.23%	休憩所が少ない	3.06%
8	洋式トイレが少ない。場所がわかりにくい	4.04%	観光誘導看板がわかりにくい	2.04%
9	無料Wi-Fi環境が少ない	1.54%	地図・パンフレットが少ない	1.02%
10	その他	14.04%	その他	60.20%

「公共交通の利用方法・乗り方・料金情報」や「観光情報」の入手が上位となり、きめ細やかな情報発信が求められている。

【参考】観光消費状況世代別割合

使用金額 \ 年代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1000円以下	26.9%	22.3%	21.7%	17.2%	24.6%	38.5%	23.5%
2000円	23.1%	21.3%	25.0%	15.2%	13.8%	12.8%	29.4%
3000円	11.5%	29.8%	28.3%	25.3%	21.5%	28.2%	23.5%
4000円	11.5%	3.2%	5.0%	9.1%	6.2%	5.1%	0.0%
5000円	23.1%	12.8%	6.7%	25.3%	24.6%	10.3%	11.8%
6000円	3.8%	3.2%	0.0%	1.0%	6.2%	0.0%	5.9%
7000円	0.0%	1.1%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
10000円以上	0.0%	6.4%	10.0%	7.1%	3.1%	5.1%	5.9%

設問13：岩国市で錦帯橋周辺以外に行った（行く）場所

	平成30年（参考）		令和2年	
1	錦帯橋周辺以外は行かない	93.43%	錦帯橋周辺以外は行かない	78.24%
2	美川ムーバレー	0.42%	美川ムーバレー	4.40%
3	とことこトレイン	0.33%	温泉	3.92%
4	温泉	0.22%	錦川清流線	2.20%
5	錦川清流線	0.25%	広島東洋カープ由宇練習場	1.47%
6	その他	5.35%	とことこトレイン	0.73%
7			潮風公園みなとオアシスゆう	0.73%
8			弥栄湖周辺	0.73%
9			その他	3.42%
			無回答	4.16%
	計	100.00%	計	100.00%

※平成30年は錦帯橋以外の施設を選択式で聞いたため参考値です。

錦帯橋周辺以外はいかないと回答された方の割合が約15%（参考値比）減少し、錦帯橋周辺の周遊の割合が増加した。

令和 2 年の観光について

令和 2 年の岩国市全体の観光入込客数は、前年比約 57.6% 減の 1,366,079 人となり、平成 18 年の市町村合併以降、最も少なくなりました。

また、錦帯橋の入橋者数は、前年比約 52.5% 減の 294,765 人となり、昭和 41 年の錦帯橋渡橋者数の記録開始以降、最も少なくなりました。

さらに、本市を訪れた外国人観光客数につきましては、前年比約 86.3% 減の 10,497 人となり、国別の内訳は、台湾が最も多く、次いでアメリカ、韓国となりました。

その要因として、令和 2 年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、4 月 7 日からは 7 都府県を対象とし、4 月 16 日からは全都道府県を対象とする国の緊急事態宣言が発出（5 月 24 日までの間）され、移動・外出の自粛や入国制限・各国の渡航制限措置により観光需要が大きく低迷したこと、また本市においても観光施設等の休業や大型イベント等の中止が挙げられます。

こうした中、本市では、「観光いわくに誘客支援補助金」や「観光いわくにイベント支援補助金」を創設し、民間団体による観光誘客イベント等を支援するなど、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ観光消費の回復に取り組みました。

また、近隣地域からの観光需要を喚起するため、錦帯橋周辺の観光施設の小学生料金を無料にするキャンペーンや岩国観光プロモーション戦略協議会による市内観光施設をめぐる謎解きゲームを実施するとともに、観光事業者等との連携により岩国寿司体験や陶芸と篆刻を同時に体験できる新たな体験型観光メニューを開発・実施するなど、本市観光の魅力向上に取り組みました。

さらに、7 月にスタートしました国の「GoTo トラベル事業」等のキャンペーンや山口県のプレミアム宿泊券等発行事業を通じた観光支援事業は、市内観光需要の回復や観光関連消費の拡大に一定の効果があったものと考えます。

こうした状況は、令和 2 年のアンケート調査結果（※令和 2 年の調査実施は 9 月から 12 月まで）にも表れています。

まず、設問 1 の「来岩観光客の地域別割合」では、中国・四国地域からの訪問が増え、半数以上となりました。一方、関東をはじめとした各地域からの訪問が減少しました。また、錦帯橋を訪れた観光バスは、前年比約 75.3% 減の 1,227 台

となり、過去最少となるほか、来岩時期も、主に1月から3月までの間と10月から12月までの間が大半を占めました。

設問2の「年代別来岩者数割合」では、40代、20代の方の割合が高くなり、第1位、第2位となりました。

設問3の「岩国への訪問回数」では、4回目以上が増加し、複数回訪問された方が、半数以上を占めました。

設問4の「旅行企画の利用」では、フリープラン及び旅行会社（個人旅行）が増加する一方、旅行会社（団体旅行）による旅行企画が減少しました。

設問5の「旅行の形態」では、夫婦・カップル、家族、友人の割合が増加し、ひとり旅や女子旅が減少しました。

設問8の「利用した主な交通機関」では、乗用車（2輪を含む。）の利用が増加しました。一方、バス、鉄道（新幹線・山陽本線）、航空機（岩国錦帯橋空港）の割合が減少しました。

設問9の「岩国での宿泊」では、宿泊しない割合が高いものの、泊まる割合が若干増加しました。

設問10の「泊まらない人の滞在時間」では、2～4時間と1～2時間の割合が減少し、4時間以上の割合が増加しました。

設問11の「岩国での使用金額（宿泊費除く。）」では、4千円から1万円までの割合が増加しました。一方、昨年第1位の2千円以下が減少し、第3位になりました。

設問12の「岩国でのお金の使用先」では、軽食、昼食、夕食など岩国で食事をとられる方が増加しました。土産（飲食）も増加し、第6位となりました。

設問13の「錦帯橋周辺以外に行った（行く）場所」では、錦帯橋周辺以外に行かない方の割合が減少し、市内の他の観光施設等への周遊が増加しました。

設問14の「魅力向上のために必要な施策」では、公共交通の利用方法等の入手や観光情報の入手が上位となりました。

以上のとおり、近隣地域の家族連れの方々などが、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を図りながら楽しめる観光地として、これまで訪問経験のある錦帯橋周辺を選ばれ、主に乗用車（2輪を含む。）を利用され来訪されました。また、市内周辺の観光施設にあっては、やましろ地域のキャンプ場等の利用も多くなりました。

このように本市においては、自宅から近距離・短時間での移動により地域の魅

力を再発見するマイクロツーリズムが顕著に表れるとともに、国や山口県等の観光支援事業もあり、滞在時間の延長及び観光消費金額の拡大につながったものと考えます。

こうしたことから、未だ新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが不透明な中、新しい旅行形態も見据え、錦帯橋をはじめ市内観光スポットの周遊を促すよう、公共交通機関や観光情報などのきめ細やかな発信はもとより、自然、食、文化等の観光資源を磨き上げ、観光体験メニューの充実を図るなど、滞在時間の延長や観光消費金額の拡大に繋がる施策の実施が必要と考えます。

令和３年の観光について

令和３年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により影響を受けている市内観光事業の早期回復を図るため、「岩国市団体旅行支援補助金」の創設や、観光消費の回復を図るため、「観光いわくにイベント支援補助金」を令和２年度から継続して実施することとしています。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、国は、１月から３月にかけて２回目となる緊急事態宣言を発令し、さらに４月２５日から３回目となる緊急事態宣言を発令するなど、依然観光事業者は厳しい状況にあります。

こうした中、ウィズコロナ・ポストコロナを見据え、感染拡大防止対策の徹底はもとより国内に向けては、市内各所の魅力や観光情報について、ＳＮＳ等を通じて積極的かつ丁寧な発信に努めるほか、国外に向けては昨年度の英語版ホームページの作成に引き続き、中国語（簡体・繁体）版及び韓国語版の公式観光ホームページの作成に取り組み、ＰＲ動画を活用した観光プロモーションを展開してまいります。

また、市内観光協会や岩国観光プロモーション推進協議会など関係機関と連携の下、新たな観光体験メニューの開発はもとより錦帯橋や桜等のライトアップの活用による夜型観光の充実など、観光資源の魅力向上に取り組み、観光誘客の早期回復につなげてまいります。